

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和 6 年 11 月 2 日から令和 7 年 3 月 14 日 * 契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050431・B18052 ・B18051	

2 福祉サービス事業者情報（ 2025 年 1 月現在）

事業所名：（施設名）箕輪町立沢保育園		種別：保育所
代表者氏名：箕輪町長 白鳥 政徳 （管理者氏名）園長：有賀 ちまり		定員（利用人数）：170（150）名
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町		開設（指定）年月日： 昭和 5 0 年 1 2 月
所在地：〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 1890-1		
電話番号：0265-79-2612		FAX 番号：0265-79-2612
電子メールアドレス：sawaho@town.minowa.lg.jp		
ホームページアドレス： https://www.town.minowa.lg.jp		
職員数	常勤職員： 42 名	非常勤職員 4 名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	園長 1 名	
	フリー主任 1 名 主任 1 名	保育士 2 9 名・給食調理員 5 名・保育補助 5 名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	0 歳児保育室 1 室	太陽光発電設備 床暖房設備 エアコン空調設備 【室内】 3 歳以上児絵本コーナー 3 歳未満児絵本コーナー 【戸外】 屋外運動場（天然芝生） 複合遊具・滑り台・ブランコ・雲梯・鉄棒 シーソー、ロッキンパッピー、ジャングルジム 砂場、築山、赤土築山、未満児砂場、 組立式プール大 1 基、小 1 基 遊具庫
	1 歳児保育室 2 室	
	2 歳児保育室 2 室	
	3 歳児保育室 2 室	
	4 歳児保育室 2 室	
	5 歳児保育室 2 室	
	一時預かり保育室 1 室	
	多目的室 1 室	
	遊戯室 1 室	
	未満児遊戯室 1 室	
	絵本の部屋 1 室	
	中庭 1	
	相談室 1 室	
	調理室 1 室	
	事務室 1 室	

3 理念・基本方針

【箕輪町保育理念】 子ども一人ひとりを大切にし、保護者や地域に愛される保育園を目指します 【箕輪町保育理念】 1. 用語と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します
--

2. 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします

【園目標】

- ・思いっきり遊ぶ子ども
- ・自分の力で生活できる子ども
- ・自然の中で伸び伸びと遊ぼう

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【箕輪町の特徴】

○箕輪町は、南アルプスと中央アルプスに抱かれた長野県伊那谷の北部に位置する、田園工業都市として発展している町です。中央自動車道西宮線をはさんで、広域農道・県道伊那箕輪線・国道153号線・箕輪バイパス・JR飯田線と、南北を幹線が縦走し、理想的な交通網が整備された暮らしやすい町です。

また、近年では首都圏を中心とした先進開発型企業の進出が活発となり、産業分野の先端技術が集結してハイテクタウンへと変貌しています。農商工の調和と「住む人々が主役のまちづくり」を基本に、夢とロマンあふれる未来型環境の整備を創造している町です。

○箕輪町は「箕輪町こども・子育て応援条例」を制定しています。すべての子どもが主体性をもって健やかに育つことを願い、子どもの成長を妊娠期から成人に至るまで切れ目なく支援して、「地域全体で喜びや楽しさを実感しながら子育てができる社会」を目指しています。

子どもや子育てを応援する仕組みを、地域全体に広げて確かなものにするために、行政が主導するのではなく、広く委員を公募して、幅広く町民の声や意見を聞き様々な課題を明らかにしようと、「こども・若者審議会」を設置しています。

○箕輪町では、子育て世代に支援が届くよう、子育てに関する情報を充実させています。箕輪町子育て情報サイト「いいね！みのわっこ」や、家庭での親子の触れ合いを応援するための子育て応援動画の配信、「こども誰でも通園制度」の導入など、様々な子育てニーズに対応しています。

○箕輪町では平成27年に策定した保育園の長寿命化計画を再検討し、保育園施設等を取り巻く現状と課題を明らかにしながら、施設の規模・配置計画・統廃合等の基本方針に沿って、町の保育園の改修・新築を進めています。最新の設備を整え、子どもたちにとって安心・安全で、また楽しい経験がたくさんできる園舎の建築が進み、町が子どもたちを大切に育む政策が伺えます。

○町では、業務支援システムを導入し、ICT活用で園の運営を改善しています。「箕輪町保育園業務支援システム」として、保育実施記録の管理、健康記録、登降園管理、年間計画作成などの業務を支援することにより、記録の共有化、保育士の業務負担軽減を図っています。業務の負担軽減は、保育士が子どもと向き合う時間をより多く持てることにもなり、保育の質の向上につながっています。

【沢保育園の特徴】

○箕輪町の北部に位置する沢保育園は、平成29年12月に新築移転されました。保育園周辺道路の整備についても、園舎完成後に拡幅工事が行われ、送迎時の通行（特に車のすれ違いの時）の負担が減りました。

園舎は、県産材をふんだんに使ったぬくもりのある保育環境で、太陽光発電が設置されたほか、すべての保育室に冷暖房、床暖房が完備されています。未満児専用の遊戯室や充実した絵本コーナー、また広い芝生の園庭など、子どもたちが毎日、思い切り体を動かして駆けまわったり、好きな遊びを見つけたりして楽しむ環境があります。

○絵本コーナーの屋根は、旧保育園のシンボル「赤いトンがり帽子」のイメージを残しています。中庭は未満児が利用するため ゴムチップ舗装がされて、思う存分走り回っても、大きいクラスの子とも衝突する心配もなく、未満児のしたい遊びや安全が守られています。

○「みのわっこチャレンジ」として様々な活動に取り組んでいます。子どもたちの「みたい」「ふりたい」「しりたい」「やりたい」という好奇心を育み、自然とのふれあい、屋外・屋内遊びの充実や音楽体験、地域や小学校との交流などを職員が一体となって進めています。

○未満児保育室には授乳室、沐浴室など0歳児（生後8か月）から保育を提供するための設備を整えています。

○一時預かりを実施しています。未就園で、一時的に保育を必要とする家庭の様々なニーズに寄り添い、生後8か月以上の子どもを対象として、月10日までの保育をしています。

○学校区である箕輪北小学校との交流活動を計画的に行い、地域活動や子どもの継続的な育ちを保証するために、連携を密にしています。
○ICT システムを活用して、園生活をドキュメンテーションとして知らせています。園の様子や活動をわかりやすく、リアルタイムで伝えるほか、園だより、献立表、感染情報なども配信、保護者からの連絡や写真販売などにも活用しています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成 30 年度）
---------------	---------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○子どもの感性を豊かに育む体験を大切にしています。

・自然との関わりを大切にして、戸外活動や散歩などを計画的に実施しています。小動物や草花との触れ合いを楽しみ、いろいろな場所や道を歩くことで感じる風、景色など、五感を使った経験ができるようにしています。職員は、やみくもに散歩に出かけるのではなく、保育のねらい、子どもたちに経験してほしいことを確認しながら目的地を決めています。戸外活動の導入として、子どもたちと一緒に散歩マップを見たり、やりたいことを出し合ったりして目的地を決めています。

・年間を通じて、リトミック、音楽鑑賞、わらべ歌遊び、音 tomo コンサート、歌と絵本ライブ、楽器遊びなどを計画的に実施しています。また、絵本に親しむ活動や、バランスボール遊び、スマートフェンシング（箕輪町はフェンシングの町）などの体を動かす遊び、自然物や廃材を使った造形遊びを楽しんでいます。職員は、これらの経験を通じて、感性や表現力・運動能力の発達、さらに情緒の安定や、集中力・思考力・想像力を育み、子どもの発達や可能性を伸ばすための支援を大切にしています。

○職員体制が確立して、組織力とチームワークの向上が図られています。

・園長を中心に、主任保育士、職員がそれぞれの立場と専門性、知識や経験を生かして、保育を進めています。園長とフリー主任が連携をとり、職員が働きやすい環境を整えられるよう努めています。「急な勤務体制の変更に対応する」、「様々な場で職員が意見を出しやすい雰囲気を作り出す」、「工夫点を共有しながら組織力を向上させる」、などに努め、職員が一丸となって保育に取り組んでいること、チームワークの促進が図られていることが伝わってきました。

・職員は、目的に応じた各種会議（職員会や園内研修、保育の振り返りの場など）を定期的に開催して、意見を出し合い、積極的なコミュニケーションを図っています。職員同士の話し合いや意向確認は、お互いの気づきや学びを得る機会として機能しており、組織として保育の質の向上を図る取組につながっていました。

○子ども自らの意思を大切に、主体的に活動できるよう保育を進めています。

・職員は、子どもたちが興味や関心のある遊びを自由に選んで、遊び込める保育環境を整えられるようにしています。集団活動などにおいても、見るだけ、から、見てやってみたい、と思うこと、自分もやってみよう、という子どもの気持ちの過程に丁寧に向き合い、主体的な遊びとして発展させられるよう環境設定や支援を工夫しています。子ども主体の遊びを構成するために、保育士も自ら楽しむ気持ち、子どもたちの「やった！」「できた！」に共感し、子どもの満足感や成功体験を育てる活動を大切にしています。

・職員は、子どもの興味・関心を逃さず捉え、環境構成につなげるための、保育の振り返り、見直し、次の保育への継続性などを常に検討しています。子どもの主体性を大切に育むとともに、地域の伝統的な行事参加や、集団生活のルール、決まりを守る大切さなどに気付かせるための支援として、様々な場やいろいろな人とのかかわりを広げる機会を多く取り入れています。「みのわっこチャレンジ」の活動機会を生かし、子どもの視野を広げて、社会性を育む場として位置付けていることも評価できる取組です。

◇特に改善する必要があると思う点

○保護者向け事業計画詳細の早めの連絡が必要です。

・保護者からはたくさんの感謝のコメントが寄せられています。園への協力体制も皆さんが準備万

端であることが伺えました。

そのうえで、保護者の声を定期的に聞いたり、把握したりする仕組み作りがあると、よりサービスの向上につながると思います。

○外部からの侵入対策について保護者への周知が望まれます。

・様々な事件が報道される中、保護者も園の安全について心配があると思います。評価時には、沢保育園が不審者侵入に対して十分な注意を払い、厳重に施錠などの対策をしていることを確認しましたので、せっきくの対策が保護者にもっと伝わるよう、定期的な周知を検討されることを期待します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目 (別添 1)
- ・ 内容評価項目 (別添 2)

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添 3－1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）